

2 人権に関わる新しい概念

大阪府教育センター 教育企画部 人権教育研究室

人権に関わる新しい概念として、「マイクロアグレッション」という言葉がよく聞くようになりました。マイクロアグレッションとは、日常的な人間関係の中で起こるマイノリティへの攻撃のことです。発言した側には明確な悪意がない場合も多いため、その問題性が理解されにくい一方、被害は日常的に繰り返されるため、受ける側にとっては、深刻な痛みとなります。

この問題自体は以前から存在していましたが、このように名前が付けられ、認識されやすくなったことで、課題解決に向けた取組みが進むことが期待されます。一方で、言葉は知っていても意味は分からなかったり、誤った捉えをされているケースも見られます。

この分科会では、講演を通して、マイクロアグレッションについて正しく理解した上で、ジェンダー、在日外国人、同和問題などの様々な人権課題とどのように関わるのかについて認識を深めます。また、参加者どうし交流しながら、教職員に求められることについて考えます。

講演・ワークショップ

「マイクロアグレッションを知ろう」

北川 知子（大阪教育大学 非常勤講師）

参加者のアンケートより

- ・子どもたちの「自分らしさ」が大切にされているかについて考える機会となりました。すべての人が自分らしさを発揮できるためにできること、そして、社会の構造を変えていくためにできることを考えていきたいと思います。
- ・マイクロアグレッションが、それを受けた側にとっては決して「小さい攻撃」ではないこと、またマイクロアグレッションが生じた際に、それを周りで見聞きしている人たちがどのような行動を起こすかが重要であることを学びました。
- ・「人権の本質はNoを言えること」という言葉に納得しました。Noと言える力やそれを受け入れることができる子どもたちを育てていきたいと思いました。